

18 泌尿器科研修プログラムの概要

1. プログラムの目的と特徴

将来泌尿器科を専門とし標榜する医師のためのプログラムであり、研修3年間終了時には、日本泌尿器科学会専門医試験受験資格を取得できる。

2. 研修内容と到達目標

1年目

臨床研修：指導医と組んで患者を担当し、泌尿器科学の病態生理を正確に理解し、一般的な泌尿器科疾患について、的確な診断ができ、指導医のもとで基本的な観血手術と内視鏡手術ができる。

臨床研究：臨床経験した症例を、地方会等における発表を行うと共に、2年次、3年次へつながるテーマを選択する。

2年目

臨床研修：一人で責任医師として患者担当医となり基本的な疾患について、診断から治療・手術を一貫して責任を持って行うことができる。高度な難易度の高い手術を指導のもとで行うことができる。

臨床研究：1年次を通して臨床経験した症例から、テーマを選択し、臨床データを収集し、解析を行う。

3年目

臨床研修：すべての泌尿器科およびそれに関連する疾患の病態を正確に把握し、例外的な症例についても、的確な診断と治療法の選択ができる。高度な難易度の高い手術を自ら経験する。

臨床研究：2年次で得られた臨床研究テーマのデータと解析の結果を学会および論文発表する。

可能であれば、将来の臨床研究の基礎を構築する。